



BITS in 北陸

NIHON UNISYS GROUP
BUSINESS & ICT STRATEGY FORUM

日時 2015年12月4日(金)
13:00~18:30 (13:00受付開始・開場)
会場 ANAクラウンプラザホテル金沢
主催 日本ユニシスグループ
共催 ユニシス研究会



* 展示コーナーは17時30分迄です。

決済連動マーケティング ～ 進化型CLO ～



「販促・送客」「決済基盤」「顧客管理」を統合し、決済を起点に買い物環境の利便性を向上させる「決済連動マーケティング」に取り組んでいます。顧客を特定した販促や、店舗へ新規顧客を誘導(送客)するといった企業のマーケティング活動を支援します。

【商品CLO (Card Linked Offer)サービス】

本サービスは、メーカー企業などが生活者に向けてキャンペーンなどを展開する際に、決済データを活用し、より効果的なキャンペーンの実施が可能になるサービスです。クレジットカードに加え、プリペイドカードやデビットカード、さらには流通・小売業のポイントカードなど、さまざまな会員サービスと連携することができます。

会員は、カード発行企業などが提供する会員向けスマートフォン用アプリやWebサイトにて、サービス規約に同意・承諾することで、無料で本サービスを利用することができます。

Handractive MIRROR CAZASEVA ～インタラクティブミラーが導く顧客接点～



次世代サイネージとして、利用者との対話を行うインタラクティブ性が注目されています。鏡型サイネージにモーションセンサーを組み合わせた、新たな顧客接点を創造しました。“手ぶら”で空中操作を楽しみ、その“体験”を持ち帰る仕掛けを体感していただきます。本ブースは、旭硝子株式会社様と日本ユニシスの共同展示です。

IoTでつなぐスマートオフィス ～スマートロックロボット「Akerun」～



スマートロックロボット「Akerun」はサムターン付きドア錠をスマートフォンで操作可能な“スマートロック”に進化させられるIoTデバイスであり、既存のドア錠に後付けしてスマートロック化できる世界初の製品です。実際にスマートフォンを使ったドア錠のロック操作を体験していただきます。本ブースは株式会社フォトシス様と日本ユニシスの共同展示です。

IoT/M2Mサービスプラットフォームを活用したソリューション 『踏切監視』『災害監視 サイカメラZERO』『無事故プログラムDR』

IoTやクラウド利用の拡大により新たな市場が創られ、業界をまたがるサービスが生まれます。その最先端に行く主要な利用技術、『踏切監視サービス』、『災害監視カメラサービス サイカメラZERO』、『無事故プログラムDR』を紹介します。

工場や店舗から生まれるビッグデータの利活用 ～「ビッグデータ統合・分析基盤」とその活用事例ご紹介～

ビッグデータの利活用は、企業に新たな価値とビジネスチャンスをもたらします。データを素早く分析し価値ある情報に昇華させることで、新商品の開発、既存事業の強化、新規事業の創出など、企業の成長戦略の原動力となります。一方、厳しい市場環境の中、企業が競争優位を勝ち取るためにはビジネスのスピードが重要な要素のひとつとなります。ビッグデータの利活用が始まった製造業や小売業での実際の取組みを紐解きながら、「スピード」という観点を中心に「ビッグデータ統合・分析基盤」の効果をご紹介します。

SSDストレージ 『Pure Storage』

オールフラッシュ・ストレージ製品である『Pure Storage』をご紹介します。データベース環境や仮想化基盤（特に仮想デスクトップ環境）のパフォーマンスを劇的に向上させます。導入事例のご紹介や実機を使用したデモンストレーションを行います。

Oracle互換データベースソフト 『Tibero』

クラウド環境でも低コストで利用可能な次世代データベース「Tibero RDBMS」最新バージョンのご紹介をします。弊社にて行った検証結果の展示やデモンストレーションを行います。

マイナンバーのセキュリティ対策から認証基盤の見直しを考える 『SecureSuiteV』

なりすまし対策の多要素認証と増加するアプリケーションの認証をシングルサインオン化する『SecureSuiteV』をご紹介します。

無線LANソリューション 『LCXとAccount@Adapter』

認証スイッチ「APRESIA」とRDIUS・DHCPサーバ「Account@Adapter+」は、観光地などでニーズの高まっている「無線LANフリースポット」において、ユーザーの利便性を損なわず、管理者の負担を軽減するユーザー申請、登録、管理システムを実現致します。

EIZOの最先端の高画質

EIZOの最先端の高画質、4K、正方形、フレームレスのモニターをご紹介します。4KUHD（3840×2160）の解像度と、31.5インチの作業領域、かつ広視野角IPSパネル採用のEV3237は、想像以上に快適な使い心地を提供します。EV2730QはEIZOのみの1920×1920ドットの特異な解像度を持ちます。フルHDやWUXGAの縦解像度に比べて縦が長いことで、ITワーカーの“ちょっと足りない”を完全に解消し、縦方向のスクロール頻度を減らし、PCワークによる疲労感の緩和や精度アップが見込めます。

* 展示内容は、都合により変更になる場合がございます。